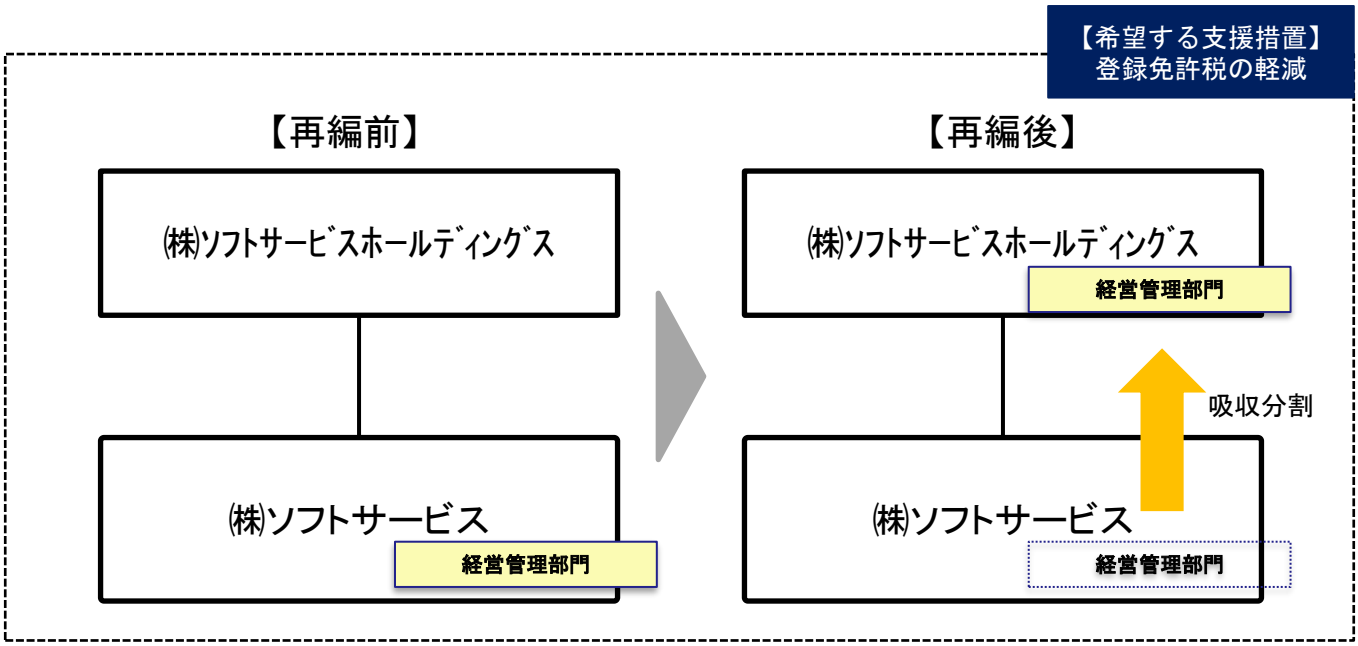
2026年5月29日

株式会社ソフトサービスホールディングスの「事業再編計画」のポイント

株式会社ソフトサービスの不動産事業を含む経営管理部門を当社に会社分割により移転し、株式会社ソフトサービスは本業のシステム開発にリソースを集中し、更なる事業展開の加速及び収益の向上を図る。

具体的には株式会社ソフトサービスにおける新たな開発プロセスの取り組みとして、開発プロセスにモデル駆動開発による手法を確立させ、その開発手法を加速させることで、これまで以上に開発プロセスにおけるコードレビューの効率化及びテスト期間の短縮化を目指す。結果として開発プロセスの効率化による生産性の向上を実現することができる。
また、株式会社ソフトサービスでこれらの開発プロセスを確立させた後は、グループ間で新たな開発プロセスを共有していくことで更なる企業価値の向上が期待できる。



【生産性の向上】
・従業員一人当たりの付加価値額を2028年6月までに21.2%向上させる。

【財務の健全性】
・有利子負債/キャッシュフロー　8.4倍
・経常収支比率　111.2%

【商品の新たな生産方式の導入】
・2028年6月期において、製造原価をを5.1%削減する。

【計画の実施期間】
・2026年6月～2028年6月